

## 三重と森本

### 一緒に取り組む地域づくり 8 年目

新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除され、徐々にこれまでの生活が戻りつつありますが、まだ感染防止と収束に向けては予断を許しません。

今年度はコロナの状況を考えながらの活動になりましたが、引き続き二つの区が一緒に取り組むにご協力いただきますようお願いいたします。



少子・高齢化、過疎化がすすむ三重と森本が一緒に取り組む地域づくりが八年目に入りました。

二〇二〇年度の本協議会役員体制や活動計画を決めましたので報告します。



コロナ禍

状況を考えて活動します

### 2020 年度 活動計画

#### 《移住促進協議会》

移住者を迎えることができなかつたので、次の手立てを考える。三重の空き家で多拠点生活をコンセプトにした「丹後里山ノイエ」が 5 月 30 日オープンした、利用者との地域交流の接点を作りたい。

#### 《農法委員会》

三重・森本の農業者の理解と協力を得て、ゲンゴロウ郷の米の生産・販売活動の取り組みをさらに進めていく。将来目標は地域に新たな農業のあり方と経済循環を創っていくこと。

#### 《まんぐるわ三重・森本》

低農薬、有機質肥料のこだわり野菜づくりの農法を確立して地域の人に啓発する。お弁当作りや地域住民への販売に取り組む。意欲的に加工品づくりを行って目玉商品を作る。軽トラ朝市、視察、集える場所の設置などなど。

#### 《若者グループ「三重・森本里カブ」以外》

里力活動参加の呼びかけを行い、本協議会との協力体制を維持・強化していく。

#### 《龍谷大学生との連携活動》

地域で活動する学生から学び、活動を支援する

#### 《地域との連携》

子どもや高齢者を中心にした行事や環境美化活動など両区と協力して進める。

### 2020 年度 協議会役員

会長	新田 良文	森本区長	移住協力員
副会長	谷口 富夫	三重区長	農法委員
副会長	糸井 正彦	移住支援員	農法委員
幹事	芦田 完二	農法委員長	
幹事	丸井 洋市	移住協力員	
幹事	糸井 錦	三重副区長	
幹事	河野矢 秀	三重副区長	
幹事	西垣 英明	森本副区長	
幹事	井浪 善之	森本副区長	
幹事	河嶋 英一	農法委員	
幹事	河島 隆雄	農法委員	
監査	田崎 喜芳		
監査	岡田 志朗		
庶務会計	糸井 嘉彦	移住支援員	
庶務会計	矢野 義則		
まんぐるわ三重・森本 (2 名)			
若本グループ「三重・森本里カブ」以外 (1 名)			

#### 《協力員》(役員経験者)

三重区	糸井 照雄	西垣 和生	糸井 徳政
	糸井 圭子		
森本区	富田 忠男	田崎由美子	矢野 朋子

## 盆花など準備 お待ちしております

### 8月軽トラ朝市

こだわりの野菜づくりグループ  
まんぐるわ三重・森本

8月10日(祝) 8時～

8月22日(土) 8時～

大宮インター三重側  
いつもの場所で

新型コロナで自粛していた軽トラ朝市を7月18日に再開しました。

8月の朝市は、10日(祝)と22日(土)の2回開きます。お盆のお花を中心にナス、トマト、カボチャなど夏野菜を盛りたくさん準備してお待ちしています。

お越しの際は、マスク着用、お買い物バック持参にご協力下さい。

### いつもありがとう コロナに負けないで

### 龍谷大学生の食生活を支援

コロナ禍、6年前から交流している龍谷大学生の食生活を支援しようと、当協議会と森本アグリ(株)が協力して「ゲンゴロウ郷の米」340kgを大学へ提供しました。

5月26日に150kg(5kg×30袋)、6月15日に190kg(5kg×38袋)と2回に分け「ともに頑張ろう」のメッセージとともに贈りました。

また、7月12日には、「まんぐるわ三重・森本」が、毎年EM菌ボカシ肥料作りを手伝ってもらっているお礼にと、ジャガイモと玉ねぎ1人5キロを持ち寄り、合計50キロを贈りました。

龍大生の皆さんいつも有難う。コロナに負けないでください。



▲ゲンゴロウ郷の米 5kg入りの袋を手に「ともに頑張ろう」のエネルギーをおくる里力役員と森本アグリ(株)役員 (5月26日)

### 里力活動8年 新田会長語る

京都のわらし医師、早川一光さんが語っていました。二年前まで京都新聞でコラムを掲載されていたので、ご存知の方も多いいと思います。

ある旦那が、広い荒れた土地を指さし、「ここに好きなように庭を造ってほしい。」頼まれた庭師は、庭に面した縁側に座り、ふかーと煙草をふかしながら何日も過ごした後、やにわに動き出し、三日程で庭が出来上がった。

庭を見た旦那は驚いた。庭には、細くて低い植木が、まばらに植えてあっただけだった。「なんや、この庭は。スカスカやんか。」すると、庭師は静かに答えた。「旦那、五年待つてくれ。五〇年後には見事なバランスを持った庭になる。一〇〇年後には、枝葉を伸ばした大木が、いろんな生き物を守りながら茂っていることやろう。」

地域の未来を考えてスタートした三重・森本里力再生協議会の活動は八年目を迎えました。大上段に構えて地域をよくする、地域を変えていこうとは考えていません。集まり交流しながら、地域が楽しくなることをやっていこうと活動しています。私たちの思いや活動が、何世代も後の地域のことを手がけることとして繋がっていくことを願っています。

里づくり通信が20号の節目の発行になりました。これからもよろしくお願ひします